

(別紙)

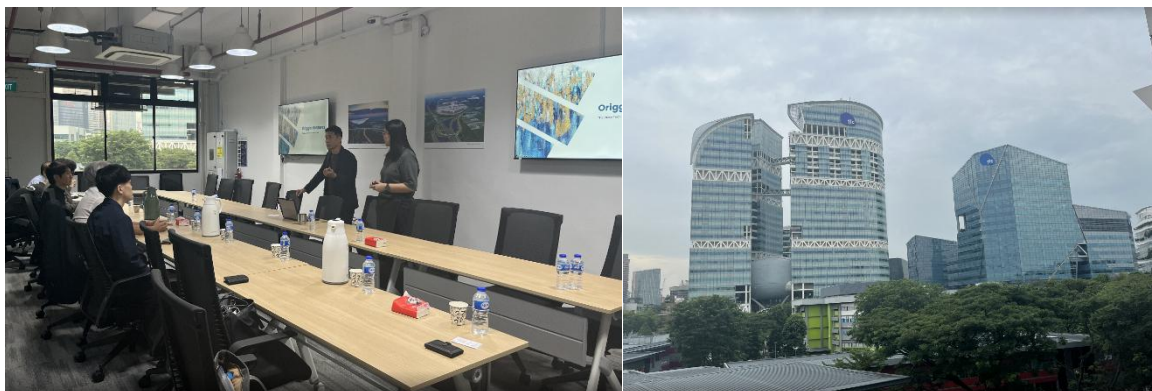
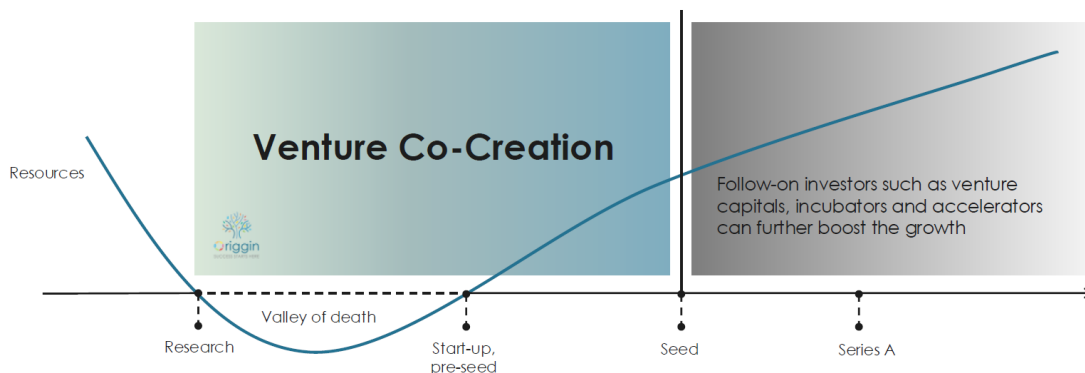
Go Singapore MedTech Gateway!シンガポール展開ハンズオン支援プログラム

2025 年 10 月 27 日～30 日 シンガポール現地ツアーでの訪問機関とツアーの様子を紹介

【訪問機関の紹介】

Origgin Ventures

<https://origgin.com/>



Origgin Ventures は、大学・研究機関から生み出されるディープテックシーズの商業化をミッションとして、2017 年設立されました。シンガポール科学技術研究庁 A*STAR との共同で「Venture Co-Creation (VCC®)」フレームワークを開発の上、有望知財のソーシングから、ビジネスモデル構築、経営人材の派遣やメンターとのマッチングなどによる支援をしています。

現在では、中国、タイ、マレーシア、日本に拠点をもち、アジアを中心とする国際ネットワークを展開しています。日本では、福岡を拠点とするベンチャーキャピタル「GxPartners」と基本合意書を締結し、九州を拠点とする大学発スタートアップエコシステム「PARKS」に唯一外国企業として参加しています。

Origgin Ventures オフィスは、One-North 地区というシンガポールのシリコンバレーと呼ばれるエリアの中心に位置するインキュベーション施設 Block71 内にあります。Block71 は、もともと 1970 年代に建てられた工業ビルですが、2010 年代から、政府の後押しでスタートアップハブへと転用された歴史を持ち、A*STAR や NUS などの研究機関、大学が近隣に集中しています。また One-North 地区には 1200 以上のスタートアップ、200 以上の国際 VC、インキュベータ、アクセラレータが居を構え、バイオ、ICT、半導体など多様な産業分野のスタートアップの拠点も集積する、世界有数の密度を誇るエリアとなっています。

Origgin Ventures は本プログラムの共催機関であり、訪問時には彼らのベンチャービルディングのフレームワークや、上記の Block71 の歴史、シンガポールイノベーションエコシステム概況についてレクチャーしていただきました。

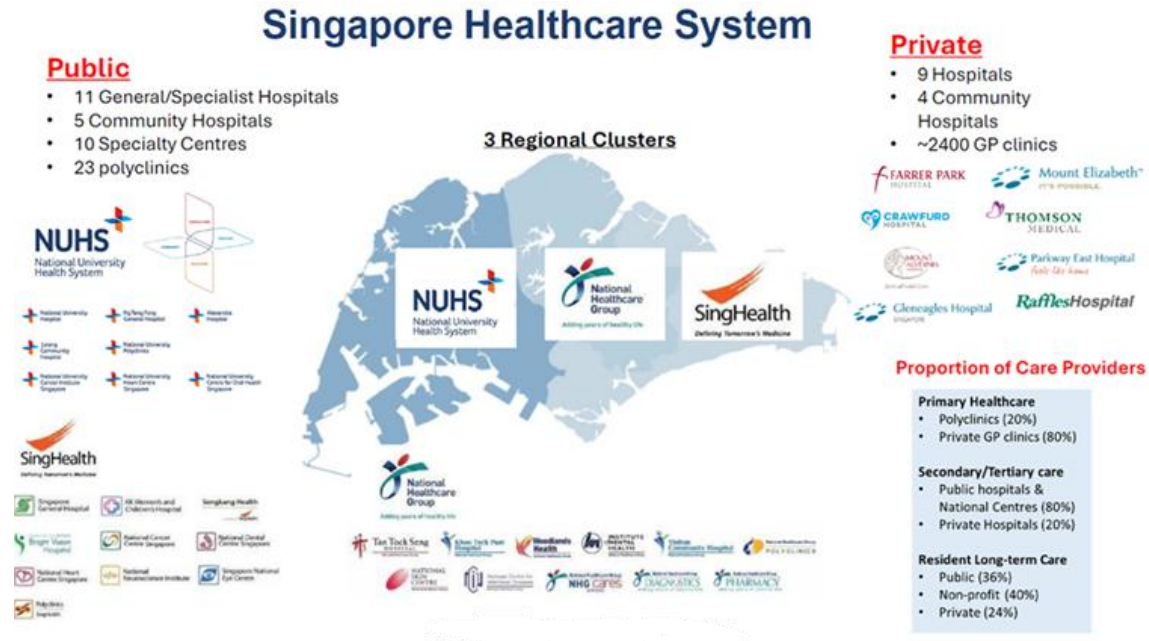
HealthTEC.SG

<https://www.healthtec.sg/>

HealthTEC.SG は、シンガポール科学技術研究庁（A*STAR）内のコンソーシアム・マネジメント・オフィス（CMO）が運営する技術コンソーシアムです。

ヘルスケアとウェルネスの変革を目的に、ソフトウェア・ハードウェアの両面の技術に焦点を当て、学界、産業界、医療機関の連携を支援しています。

HealthTEC.SG では、シンガポールのヘルステックエコシステムの全体像について紹介していただきました。



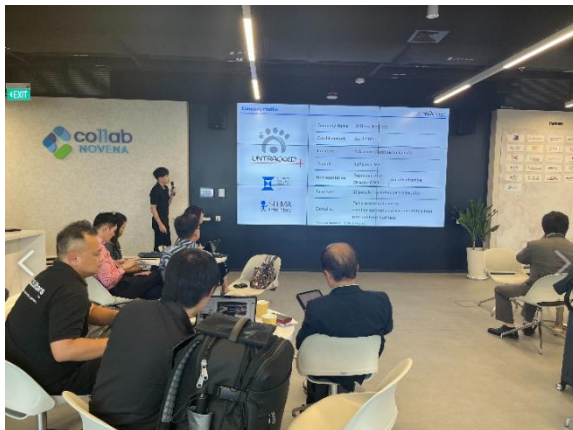
※上図 HealthTEC.SG 資料から許可を得て抜粋。ただし情報は 2025 年 11 月時点のものです。

- ・シンガポールのメドテック／ヘルステック市場は 2028 年まで年率 6～9%の成長が見込まれ、400 社以上のスタートアップ、150 社の中小企業、40 社の多国籍企業（MNC）が集積しています。
- ・世界トップ 30 のメドテック企業が R&D センターや製造拠点を設置しており、規制制度や市場拡大の機会が整っていることが、メドテック／ヘルステックの地域ハブとして多国籍企業（MNC）やスタートアップを惹きつける要因となっています。
- ・ウェアラブル、メンタルヘルスアプリ、遠隔モニタリング、AI 診断など 国家的イニシアティブが多数実施されており、慢性疾患管理、高齢化、病院から自宅へのケア移行（hospital-to-home）、セルフヘルスケアの推進が重点領域となっています。
- ・シンガポールの医療システムは 3つの主要クラスターに分かれており、それぞれが複数の病院と、独自のイノベーションオフィスを擁するため、参入の際は、クラスターごとに個別のパートナーシップ構築が必要であるとのこと。
- ・地域ケアやアクティブエイジングセンターが高齢者支援に大きな役割を果たしています。
- ・「Healthier SG」イニシアティブにより、質重視の医療から価値基盤型医療（Value-Based Care）へシフト。国民一人ひとりに担当家庭医をつけ、予防と継続的ケアを重視する方針が掲げられています。

NHG Health/Co11ab Novena

<https://www.nhghealth.com.sg/>

<https://www.co11ab.sg/>



NHG Health は、シンガポール中央地域を担当し、Tan Tock Seng Hospital、Khoo Teck Puat Hospital、Woodlands Health の 3 つの総合病院を運営しています。

同グループ内の「Center for Medtech Innovations」では、臨床医と協力して医療現場の課題を特定し、イノベーターの育成や技術の病院現場への導入を推進しています。また、動物試験や臨床試験、初期研究を行うための施設も整備されています。2017 年以降、約 300 名の臨床医が参加し、190 件のプロジェクトに取り組み、220 件の特許を出願しました。そのうち 100 件以上がライセンス化され、36 製品が商業化され、現在 16 カ国で販売されています。対象領域は皮膚科、リハビリ、メンタルヘルス、感染症、代謝疾患、高齢者医療など幅広く、特に皮膚科・メンタルヘルス・感染症に強みがあります。

また、2023 年にはシンガポール初のバイオメドテック・インキュベーターとして「Co11ab Novena」が設立され、NTU（南洋理工大学）のキャンパス内に設置されました。A*STAR、NTU、NHG の共同イニシアティブとして、バイオメドテック・イノベーションの育成・支援を目的とし、臨床検証やリソースを求めるスタートアップにとってオールインワンの拠点となるよう、事業化・市場参入（Go-to-Market）トレーニング、メンタリング、ネットワーキング機会の提供など、さまざまなプログラムを展開しています。

訪問中は、Research & Innovation を統括されるキーマンも参加し、参加企業のプレゼンテーションについても熱心に耳を傾け、活発な質疑が交わされました。

NHG Health は東南アジア進出を目指す海外スタートアップ誘致に注力し、2026 年に向けて Global Innovation Alliance プログラムを準備中であることや、支援企業の約 25%が日本をはじめとする海外スタートアップであるため、弊社の今後のプログラムにおいても、継続的な

連携を進めていきたいと考えています。

ACE (Action Community for Entrepreneurship)

<https://ace.sg/>

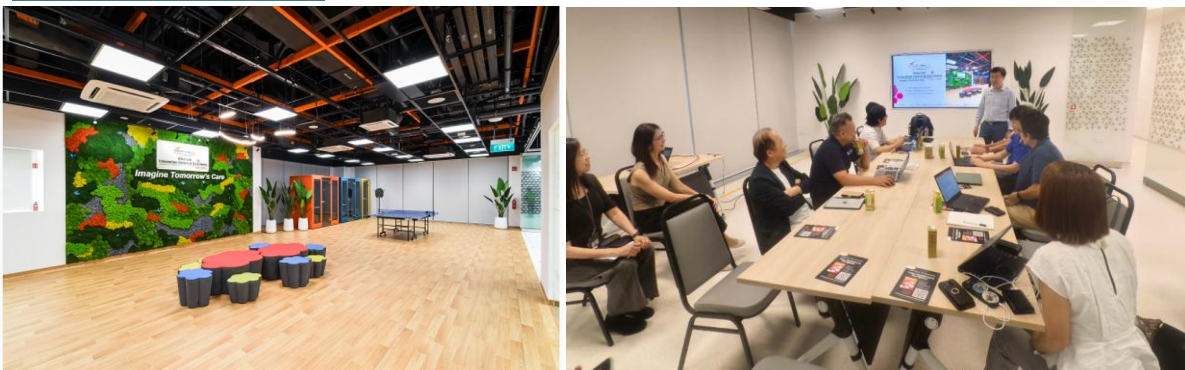


ACE (Action Community for Entrepreneurship) は、シンガポール最大のスタートアップ支援機関で、「StageOne」という海外スタートアップ向けの支援プログラムを運営しています。本支援プログラムは、欧米、韓国、中国、日本など世界各地からの使節団から構成されています。

今回の訪問では、ACE が実施する LaunchPad の各施設をめぐるツアーに参加しました。LaunchPad は、One-North エリアの一角にあり、政府系ディベロッパーJTC が運営するスタートアップのための特区 (Innovation District) となっています。コワーキング、研究施設、試作スペース、アクセラレーター、VC が一カ所に集積する施設です。このツアーで NUS Enterprise が運営するインキュベーション拠点である Block71 や、同拠点に入居するスタートアップ企業などと交流を行いました。

SingHealth(Singapore General Hospital)/A.L.I.C.E

<https://www.sgh.com.sg/>



SingHealth はシンガポールの中で最も大規模なクラスターであり、総合病院、ポリクリニック（地域診療所）、専門センター（がん、眼科、歯科、神経科学、心臓）、コミュニティホスピタル（回復期病院）を擁します。近年では医療費抑制と健康増進のため急性期治療中心から予防医療中心へ戦略的シフトが進んでいます。

Singapore General Hospital 内には A.L.I.C.E というイノベーションセンターがあり、イノベーション促進と外部連携の推進をミッションに、特に企業や学術機関との協業を重視して活動しています。SingHealth は自らの技術のインキュベーション促進、スピンオフも支援しており、スタートアップ向けのコワーキングスペースも提供しています。スタートアップは、彼らが提供するテストベッド、臨床試験、ローカル規制への適合支援などの支援を活用することができます。

面談では、SingHealth が海外発イノベーションにもオープンである姿勢を伺うことができ、参加企業にとっても、東南アジア展開の足がかりとして、今後の支援活用が期待できる貴重な機会となりました。

Bosch Southeast Asia

<https://www.bosch.com.sg/our-company/bosch-in-singapore/>



Bosch はグローバルに研究開発投資を強化しており、2024 年には 78 億ユーロを R&D に投入、世界で 86,000 名の研究者を擁するなど、技術ドリブンの事業拡大を進めています。近年はシンガポール拠点においても、ヘルスケア領域の技術スカウティングを強化していく方針が示されています。

今回は、上記の取り組みの一環として、本プログラムの訪問を受け入れていただきました。

当日のミーティングには、Bosch の複数のイノベーション部門（R&D、事業開発、オープンイノベーション関連部署など）が参加し、本プログラムの参加企業がピッチをする機会をいただきました。本社メンバー含む各地域拠点の専門分野を反映した多角的な視点から活発な意見交換が行われました。

【個別面談の様子】

本プログラム参加企業と面談を希望する VC 担当者、政府系支援機関の担当者などとの個別商談を実施すると共に、実証協力先候補となる病院やクリニックの訪問などを行いました。



コミュニティホスピタル、専門クリニックでのデモや個別商談の様子

【SWITCH/Tech Innovation 見学】

<https://www.switchsg.org/>

SWITCH はシンガポールで開催されるアジア最大級のテックイベントです。今回の現地ツアーでも見学する機会をつくり、出展企業や、支援機関との情報交換を行いました。

